

教科・科目		教科書
家庭総合		家庭総合(実教出版)
学年	単位数	使用教材
2年(基礎)	2/4	家庭総合 学習ノート(実教出版)
科目の概要と 目標	・人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭、衣食住、消費や環境等、生活を主体的に営むために必要な知識の理解を図るとともに、それらに関わる技能を身に付けるようにする。 ・家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見だし、生涯を見通して生活の課題を解決する力や生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。	

2 学年

1	子どもとかかわる 子どもとは 子どもの発達 子どもの生活 子どもをはぐくむ 子どものための社会福祉	・10代の健康が、将来生まれてくる子供につながっていることを理解する。 ・子どもの誕生、心身の発達と特徴について理解する。 ・子どもの世界と出会うことで、自己理解を深める。 ・親子関係の課題を理解し、解決に向けてできることを考えることができる。 ・子育てのための国や地域の社会的支援について理解する。
2	衣生活をつくる 人と衣服のかかわり 衣服素材の種類と特徴 衣服の選択から管理まで 衣服をつくろう 持続可能な衣生活 衣生活の文化	・衣服がもつ機能や安全性についての知識を身に付ける。 ・衣服素材の種類、繊維の種類と特徴、衣服素材の性能について理解し、用途に応じた素材の選択ができるようにする。 ・衣服の表示の種類や意味を理解し、購入から洗濯等の管理に役立てる。 ・衣服製作を通して、衣服の構成や基礎的な縫製技術を身に付ける。 ・和服について知る。
3	住生活をつくる 人間と住まい 住まいの文化 健康に配慮した快適な室内環境 持続可能な住まいづくり	・日本の伝統的な住居の建築構造の工夫や暮らしの工夫を見付ける。 ・ライフステージによる住まいの変化を考え、生活空間の機能を理解する。 ・快適な室内環境について、日照・採光、通風・換気、騒音、冷暖房等の要素を学び、住まいの必要な管理の方法を理解する。

令和8年度シラバス

	生活設計	・自分らしい生き方について考え、家庭総合で学んだことをもとに、具体的な人生設計をする。
--	------	---